

No. 1 道路の変更に関する案件概要

議第1279号 横浜国際港都建設計画道路の変更

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・3・11	環状3号線	磯子区杉田五丁目	都筑区佐江戸町	磯子区洋光台六丁目 港南区港南台六丁目 泉区中田町 瀬谷区二ツ橋町 旭区都岡町 緑区寺山町	約28,280m	地表式	4車線	22m	京急本線と立体交差 JR根岸線と立体交差 JR東海道本線と立体交差 JR横須賀線と立体交差 JR東海道貨物線と立体交差 市営地下鉄1号線と立体交差 相鉄いずみ野線と立体交差 JR東海道新幹線と立体交差 相鉄本線と立体交差 JR横浜線と立体交差 自動車専用道路と立体交差2箇所 幹線街路横浜鎌倉線と立体交差 幹線街路桂町戸塚遠藤線と立体交差 幹線街路横浜藤沢線と立体交差 幹線街路国道1号線と立体交差 幹線街路鴨居上飯田線と立体交差 幹線街路三ツ境下草柳線と立体交差 幹線街路川崎町田線と立体交差 幹線街路と平面交差15箇所	路線の幅員22~34m
	なお	支線1号線	戸塚区戸塚町	戸塚区戸塚町		約280m	地表式		13m		
		支線2号線	戸塚区汲沢町	戸塚区汲沢町		約260m	地表式		13m		
		支線3号線	栄区小菅ヶ谷町	栄区小菅ヶ谷町		約260m	地表式		13m		
		支線4号線	栄区小菅ヶ谷町	栄区小菅ヶ谷町		約180m	地表式		13m		

(内容)

3・3・11号環状3号線は、磯子区杉田五丁目を起点とし、都筑区佐江戸町を終点とする延長約28,280メートル、代表幅員22メートル、4車線で、市域の一体化を目的とした環状方向に連絡する幹線街路の一つです。

本路線は、起点である3・3・9号国道16号線青砥坂交差点（磯子区杉田五丁目）から日之出橋交差点（戸塚区戸塚町）までの約9.7キロメートルの区間を既に供用しており、日之出橋交差点から3・3・27号国道1号線（戸塚区汲沢町）までの約1.2キロメートルの区間で、国道1号線へのフルランプ接続を目指し、用地取得及び道路整備を進めています。

この区間の完成により、国道1号線と国道16号線のネットワークを形成し、本市南部地域と湘南方

面の連絡が強化されるとともに、災害時における広域的な避難路及び緊急輸送路としての効果が期待できるため、さらなる整備効果の早期発現を図ることが重要となっています。

事業実施にあたり、現地調査等を行った結果、環状3号線支線2号線の区域に存する管理型産業廃棄物最終処分場跡地（以下、処分場跡地という）において、道路整備による保有水の流出、ガス及び臭気の発生など周辺環境に悪影響を及ぼすおそれがあることが判明したため、現計画の見直しを行うこととしました。

このたび、国道1号線とのネットワーク形成の早期実現を図るため、支線2号線をより安全性・走行性が高く処分場跡地を回避できる線形とするとともに、詳細な設計の結果、確定した擁壁等の形状に合わせて、本路線の区域を変更します。

議第1280号 横浜国際港都建設計画道路の変更

種別	名称		位置			区域	構造				備考		
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造			
幹線街路	3・3・27	国道1号線	鶴見区尻手二丁目 (川崎市界)	戸塚区東俣野町 (藤沢市界)	鶴見区下末吉一丁目 下末吉五丁目 東寺尾中台 神奈川区入江一丁目 桐畑 西区高島一丁目 浜松町 保土ヶ谷区保土ヶ谷町 権太坂二丁目 戸塚区平戸町 柏尾町 戸塚町 原宿町	約29,030m	地表式	4車線	27m	J R 南武線と立体交差 J R 横須賀線と立体交差3箇所 J R 貨物線と立体交差 J R 東海道貨物線と立体交差2箇所 J R 横浜線と立体交差 J R 東海道本線と立体交差2箇所 みなとみらい21線と立体交差 J R 根岸線と立体交差 J R 京浜東北線と立体交差 京急本線と立体交差2箇所 市営地下鉄3号線と立体交差 市営地下鉄1号線と立体交差 自動車専用道路と立体交差5箇所 自動車専用道路三ツ沢線と平面交差 自動車専用道路国道1号バイパス線と平面交差 幹線街路鶴見師岡線と立体交差 幹線街路横浜上麻生線と立体交差 幹線街路みなとみらい1号線と立体交差 幹線街路高島本牧線と立体交差 幹線街路山下長津田線と立体交差 幹線街路環状1号線と立体交差 幹線街路権太坂和泉線と立体交差 幹線街路環状2号線と立体交差 幹線街路横浜伊勢原線と立体交差 幹線街路桂町戸塚遠藤線と立体交差 幹線街路柏尾戸塚線と立体交差 幹線街路環状3号線と立体交差 幹線街路環状4号線と立体交差 幹線街路由比ヶ浜関谷線と立体交差 幹線街路戸塚茅ヶ崎線と立体交差 幹線街路と平面交差21箇所	路線の幅員15~55m		
						車線の内訳						4車線	約18,330m
												6車線	約10,700m
その他			なお、西区高島町二丁目地内に地表において約12,800㎡の横浜駅東口駅前広場、地下1階において約10,000㎡の横浜駅東口第二駅前広場、地下1階第二駅前広場に連絡するための幅員15m、延長約440mの道路を設ける。 なお、保土ヶ谷区岩井町地内に約2,500㎡の駅前広場を設ける。										

(内容)

3・3・27号国道1号線は、鶴見区尻手二丁目（川崎市界）を起点とし、戸塚区東俣野町（藤沢市界）を終点とする延長約29,030メートル、代表幅員27メートル、4車線の放射状の幹線街路です。

このたび、3・3・11号環状3号線支線2号線を、より安全性・走行性が高い線形に見直すことに伴い、変更となる接続位置に合わせて、本路線の区域を変更します。